

議 事 録

町田商工会議所

作成者：経営支援課 田村

会議名	令和6年度町田商工会議所 経営発達支援計画評価会議	
開催日時	令和7年2月7日(金)	13:10~14:50
開催場所	町田市文化交流センター5階カトレア	
出席10人 (順不同・敬称略)	(委員4名) 前田進、太細貞治、安部征吾、佐藤専務 (オブザーバー：町田市2名) 朽木雄介、永野千津子 / (事務局4名) 林、三田村、日下、田村	

議 事 内 容	<p>1. 開会 (司会：日下)</p> <p>2. 委員長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)マネジメントコア前田の前田進委員長から挨拶、各委員自己紹介。 ※昨年迄委員を務められていた長谷川氏(玉川大学)について、大学が変わられた事により本年度は委員を下りられた旨、事務局より説明。 <p>3. 議題</p> <p>(1) 令和6年度実施状況について</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績一覧表を基に実施内容について概要を説明し、今年度トピックスとして次の2点については詳細に説明した。 ◆ I-5 事業計画策定後の実施支援に関すること① 事業計画を策定していた小規模事業者持続化補助金について、本年度は2回の募集であり、策定件数が減少した。 ◆ I-6 需要動向調査に関すること①、② 及び I-7 新たな重要な開拓に寄与する事業に関すること② 「看板商品プロデュース事業」として資料3を用いて説明。8事業者の看板商品に対して、商品力の向上と販路の改善・開拓支援の結果を報告した。 <p>【委員からの発言要旨及び事務局回答】</p> <p>〈評価について〉</p> <p>太細氏 I-2-②通行量調査とI-5-①事業計画策定事業者向けについて、通行量調査についてはコロナ禍により、事業計画策定は小規模事業者持続化補助金の回数が少なかったことの外部要因をどのように評価するのか。持続化補助金でない場合も伴走型支援も評価をしても良いのでは。</p> <p>安部氏 通行量調査は計画から外してしまっているもので、計画を立てたが出来ていないという見方も出来る。</p> <p>I-2-②通行量調査とI-5-①事業計画策定事業者向けについて、外部要因であるが総合の件数面からもC評価でなくても良いのでは。</p>
	次頁へ

前田氏 I-2-②通行量調査について、実施については量より質を高めた方が良い。

通行量は落ちてるが、売上が伸びているなどの例もある。

全体の評価として、コロナ禍の外部要因だけでは判断をしていない。

会議所が実施している全体の支援で判断をしている。

佐藤氏 I-2-②通行量調査について、計画にも記載がある実施団体であった中心市街地協議会が解散してしまったのも実施していない外部要因である。

今後はAIを活用した通行量調査等を行われる予定である。

I-7-①広域連携ビジネス交流会について、町田、相模原、八王子の3団体実施の為評価方法については、検討の余地がある。

→評価方法について事務局より。

新規顧客との成約件数については、全体のアンケートから抽出した件数を1/3し実績2社としている。

朽木氏 地域の経済動向調査について、町田市産業振興計画推進委員会でも意見があり実施した。次年度以降も拡充して実施予定である。

【評価会議の結果】

前田委員長より各委員の意見を聴取し、まとめた結果、I-2、I-5の評価を事務局案から1つ引き上げる事となった。

I-2 地域の経済動向調査に関する事

(事務局案) C → (評価会) B

I-5 事業計画策定後の実施支援に関する事

(事務局案) C → (評価会) B

(備考)

- ・I-2-①について、町田商工会議所実施の地域経済動向調査と町田商工会議所が実施した事業者アンケートを活用し、町田市が実施した地域経済現況調査を実績とし、実績2件のB評価とした。
- ・I-5について、①事業計画策定事業者向けはC評価であるが、②創業計画策定者向けはA評価となり、総合をしてB評価となった。

(2) 令和2年3月16日付け経営発達支援計画(5カ年計画)の統括

令和2年3月16日付けの経営発達支援計画(5カ年計画に)について、各委員、オブザーバーに5カ年の統括をして頂いた。

太細氏 コロナ禍が始まってからの特殊な5年となった。

コロナ禍後もウクライナ問題、人材不足、物価高騰等事業者の課題も移り変わってきた。

特に価格転嫁について、BtoB事業者に関しては価格転嫁が進んでいるが、BtoC事業者に関しては価格転嫁が難しい状況である。。

人材難の中、人件費も上げられず悪い流れとなっている

次年度以降は、本当の意味でのアフターコロナになってくる。

安部氏 商工会議所が、地域密着で支援している事が、数字の面からも分かった。

税理士会も、納税の意識が高まらない。税金の理解が低いという課題を感じている。

納税の意義について、理解をしてもらう機会を作っていかなければならない。

特に若い起業家、事業承継者等に理解してもらう必要がある。

- 佐藤氏 この5カ年で事業者の相談内容も2極化してきている。
事業改善に向けて向上心のある経営者と、あまり無い経営者に分かれてきた。
向上心のある経営者は商工会議所を活用し、補助金等も積極的であった。
今後も既存の事業者、会員を大切にす支援が必要になる。
- 朽木氏 2016年と2021年の町田市経済センサスを見ると廃業率が7.5%と高い水準となった。
特に飲食店は2割程度廃業している。
今後は、ばらまきではない、廃業率を抑える取組み(事業承継等)が必要となる。
- 前田氏 この5カ年で価格転嫁が中々出来ていない等、厳しい現況となったが、小さくても
強い企業作り、下請けにならないで自己完結できる事業を目指す事によって、新たな
町田のブランドが出来る。
今後は、経営者のノウハウが1代で終わってしまわない様、承継支援、創業者支援を
強化していく必要がある。

(3) 次年度計画について

令和7年度付け(令和7年～令和12年)の次年度計画について事務局より説明。

(主な変更点)

- ・町田市産業振興計画10年計画、町田商工会議所中期ビジョンとの整合性を図った。
- ・地域の経済動向調査に関して、次年度より町田市の地域経済現況調査に移行。
- ・需要動向調査に関する事について、新たにマーケティング支援を実施予定。
- ・法定経営指導員について、1会議所に付き1名になる。

4. 閉会(事務局)

次回会議

未定